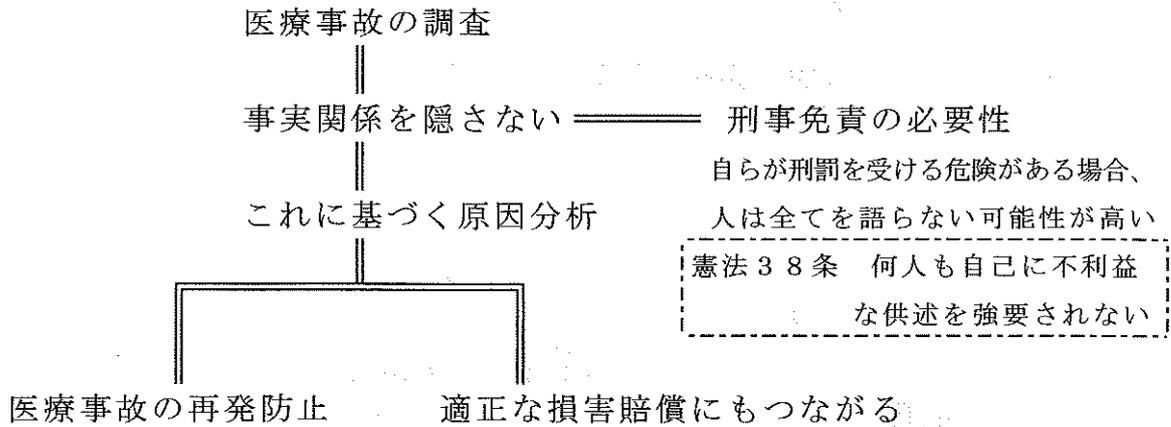


《医療事故に関する軽過失の取扱いに関するメモ》

1. 医療事故の再発防止に必要な視点



2. 故意・重過失 ⇒ 従来どおり (悪質な事故)
- 刑事
民事
行政 } 各責任を負う

3. 軽過失の取扱いについて

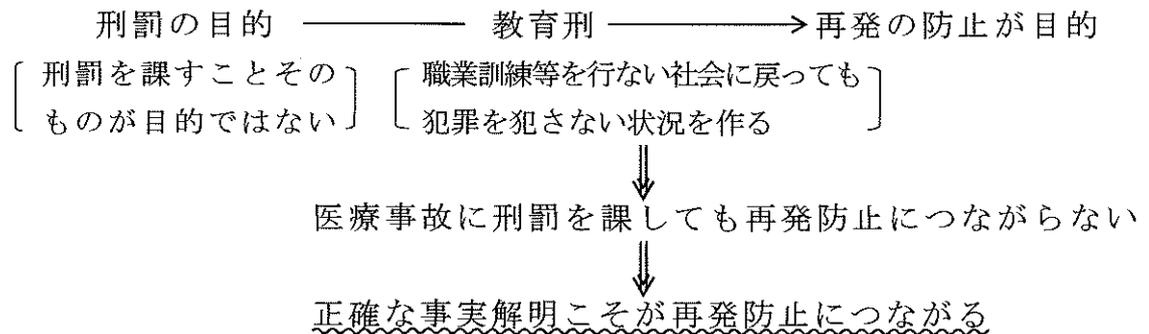
- 刑事責任の免徐・・・刑法上過失は処罰しないのが原則(刑法38条)
- 行政責任の免徐(原則として)
- 民事責任は負う

刑法38条

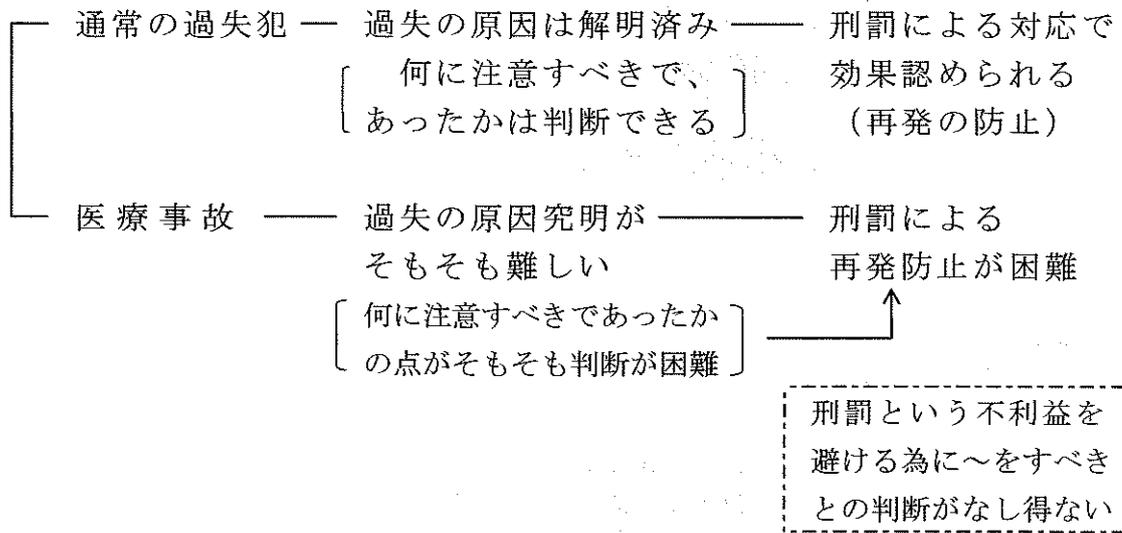
罪を犯す意思が無い行為はこれを罰しない。
但し、法律に特別の規程がある場合はこの限りでない

《医療事故が刑罰になじまない理由》

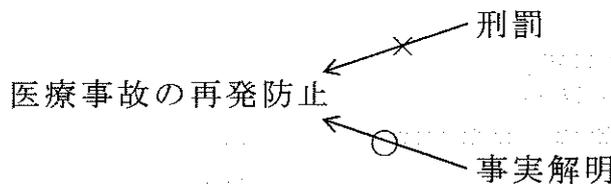
① 刑罰の目的が医療事故再発防止に適応しないとの側面



② 過失原因の不明確性の側面



《再発防止という目的からは刑罰を課すのではなく事実解明を促すことが
 合目的的行為となる》



4. 軽過失の免責は無過失補償と同時に行われるべき

医療事故の被害者の保護を十分に図ってこそ軽過失の免責も
 社会に受け入れられる

